

令和7年度

ひだまり作品展

令和8年2月28日(土)・3月1日(日)、フロイデにて「ひだまり作品展」が開催されました。ひだまり作品展とは、犬山市にゆかりのある障がいのある方の生涯学習や余暇活動の充実を目的として毎年実施されています。

今年度も私たち希楽里メンバーも企画段階から参加し、より良い作品展となるよう当事者主体で意見を重ねて準備を進めました。

今回の取り組みとして、企画メンバーのひとりがイメージキャラクターを制作し、来場者のみなさまに名前を募集する取り組みを行いました。

来場者の方の関心も高く、とても多くの方に名称を投票していただきました。そしてなんとほとんど名前が被らないという驚きの結果に！

企画メンバーとしては多くの投票をいただいたことは大変ありがたかったのですが、選考をどのようにしようか本当に悩ましい事態となりました。

結局、被りが少ない中でも、同じ名前の投票があった名称を、多い順から5つほどに絞り、その中から選考するような形となりました。

発表は今しばらく楽しみにお待ちください！

ひだまり作品展 イメージキャラクター



海の底でのんびりお昼寝するのが大好き。
顔についている明かりで、暗闇を遠ざけ、道に迷って泣いている子を助けたりするよ。

■学校卒業後における障害者の学び支援事業 × 名古屋芸術大学



YUZEN TAPESTORY

犬山市では「学校卒業後における障害者の学びの支援推進事業」の一つとして、名古屋芸術大学の協力のもとアート講座を実施しており、ひだまり作品展は、その成果発表の場にもなっています。今年度は、6名が友禅技法を用いたタペストリーとハンカチのオブジェ講座に参加し、ひだまり作品展で発表が行われました。

■フラワーアートコラージュ

キラリ共同作品

キラリでは、ひだまり作品展に向けて、毎年メンバーの共同作品を出展しています。今年はドライフラワー・造花をフォトフレーム等に飾りつけるフラワーアートコラージュを制作しました。

✿フラワーアートコラージュは、第5回 ひだまり作品展 キラめき賞を受賞しました✿

「フラワーアートコラージュ」 キラリ共同作品

それぞれの個性を生かし、どこから見ても美しいフラワーアートを、思いを込めて作りました。



第5回 ひだまり作品展 キラめき賞

希楽里 様

おめでとうございます
おめでとうございます

■ひだまり作品展 ★ キラリ メンバー出展作品



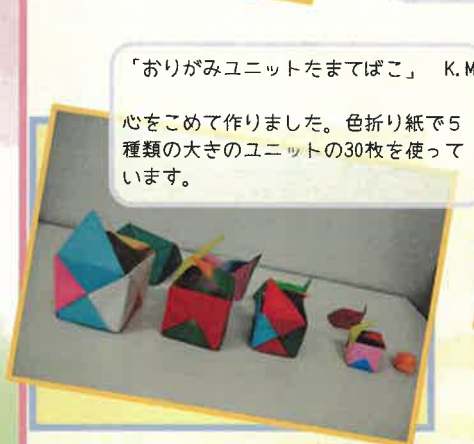
「Cat with Flower」
タンポポ
少し立体的にしてみました。



「デコ・DECO・でこ！」
A.N
かぶったら楽しくなると
思いました。



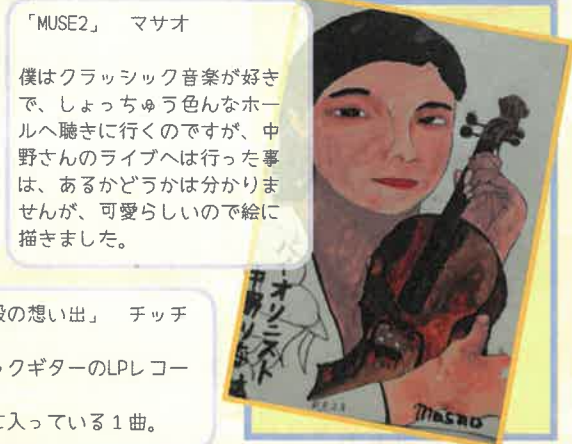
「まあいっかの精神をあなたに」
おおさわ のりひろ
発達障害の人の気持ちを表現して
みました！



「おりがみユニットたまてばこ」 K.M
心をこめて作りました。色折り紙で5
種類の大きさのユニットの30枚を使っ
ています。



「アルハンブラ宮殿の思い出」 チッチ
昔、買ったクラシックギターのLPレコー
ドのジャケット。
タイトルはそこに入っている1曲。



「MUSE2」 マサオ
僕はクラシック音楽が好き
で、しょっちゅう色んなホー
ルへ聴きに行くのですが、中
野さんのライブへは行った事
は、あるかどうかは分かりま
せんが、可愛らしいので絵に
描きました。

ピアスタッフインタビュー

ピア(peer)とは、同様な経験をし、同様な境遇、同様な環境に置かれた者同士を意味します。なので、ピアサポートとは、「同様な経験をしている対等な仲間同士の支え合い・助け合いの営みのすべて」のことです。ピアサポーターとは、意図的にピアサポートを行う人を指します。

精神保健医療福祉分野のピアサポートとは、「精神障害当事者の仲間同士の対等な支え合い・助け合いの営みのすべて」と言えるでしょう。

ピアスタッフ★プロフィール

●ムラヤマ さん (ふみちゃん)



- ①所属：地域活動支援センター 希楽里
- ②趣味/特技：クラシック音楽鑑賞
- ③好きな言葉：継続は力なり

●カメオキ さん (カメちゃん)



- ①所属：地域活動支援センター 希楽里
：草ののっと
- ②趣味/特技：旅行・グルメ/大阪弁
- ③好きな言葉：無理せず 楽せず あてにせず

① ピアスタッフになったきっかけは、動機は？

ム：B型事業所や地域のフリースペース(居場所)などでの活動の中でピアサポートに目覚め、精神保健福祉士の資格を取得して、自分らしく働きたいと思ったこと。

カ：草のネットが犬山病院。
精神保健福祉のボランティア(居場所くフリースペース)の運営)をやる中で、ピアサポーターの仲間から週1バイトしないかと誘われたのがきっかけ。